

指定管理者評価票

年度	令和4年度
担当部署	福祉部 子育て応援課 保育・幼稚園係

1 公の施設

施設名称	瑞穂町立石畑保育園		
所在地	東京都西多摩郡瑞穂町大字石畑1837番地		
施設概要	①敷地面積2,284.11㎡ ②建物面積791.635㎡ ③建物構造 鉄筋コンクリート造		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成10年4月設置 平成20年4月導入	導入後	15 年経過

2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	社会福祉法人武蔵村山育成会			
	所在地	東京都武蔵村山市大南一丁目33番地の3			
指定管理期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	選定方法	公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	女性の社会進出や少子化対策などの面から保護者の要望が多様化しており、その実現を図っていく上で、民間活力の導入により、様々な保育ニーズに対し、柔軟に対応していきます。				
指定管理の業務内容	(1) 生活指導、保健衛生その他入園児の処遇に関する業務 (2) 施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) 施設の衛生管理に関する業務 (4) その他町長が必要と認める業務				

3 施設の利用状況

(単位：日、人)

利用状況(量)を示す指標名	前指定末 平成29年度	指定期間中の実績				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
① 11時間開所(実施日数)	293	292	292	293	293	293
② 延長保育(利用人数)	123	173	362	60	84	210
③ 障害児保育(入所人数)	6	8	9	12	12	10
④ 一時保育(利用人数)	1,292	881	996	620	133	362
⑤ アレルギー対応給食(除去食等提供人数)	5	5	5	6	7	6

4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

(単位：円)

		前指定末 平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入	指定管理料	201,518,340	218,914,090	223,704,110	238,927,140	238,765,104	238,222,139
	利用料金収入	3,583,900	2,049,000	2,421,000	1,563,500	281,000	828,500
	その他	6,599,930	6,019,788	2,282,870	5,762,690	11,916,249	19,551,098
	計	211,702,170	226,982,878	228,407,980	246,253,330	250,962,353	258,601,737
支出	支出	209,303,926	223,524,827	227,562,933	245,330,674	250,211,954	259,869,033
	うち修繕費				314,741	304,609	785,400
	うち人件費	164,367,667	170,840,291	176,720,868	189,055,381	197,010,432	197,308,207
	その他	44,936,259	52,684,536	50,842,065	55,960,552	52,896,913	61,775,426

5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	平成30年度	
	令和元年度	
	令和2年度	
	令和3年度	【修理】 園庭もみじ伐採・アスレチック木製部品・照明LED器具3台・非常照明器1台・2F床暖房タイマー・ピアノ調律【備品交換(購入)】 2Fテラスミスト発生装置・2Fテラス日よけ・給食室排水溝グレーチング・給食室給湯器(町) ・ノートパソコン2台
	令和4年度	【修理】 プール底面改修工事・1F男児トイレセンサー交換・給食室扇風機2台交換 ・園庭物置ドア鍵交換・ピアノ調律・保育室・ホールLED照明2台交換・西門インターフォン交換・くものいえ購入
事務改善及び効率化等に 関すること	平成30年度	
	令和元年度	
	令和2年度	
	令和3年度	ノートパソコン2台購入・シュレッター購入・登校園システム・ルクミー午睡チェック導入・2歳児電子連絡帳の導入
	令和4年度	ノートパソコン・タブレット合計8台購入・0～2歳児電子連絡帳の導入
利用状況に関する こと	平成30年度	
	令和元年度	
	令和2年度	
	令和3年度	定員110名に対し実員113名の利用
	令和4年度	定員110名に対し実員111～113名の利用、0歳児は実員10名の利用。延長保育210名、一時預かりは362名で昨年度より増加している。

6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
算定	指定後	219,381,840	224,170,720	242,127,615	239,863,349	239,552,014
	前指定末（平成29年度）	201,985,340	201,985,340	201,985,340	201,985,340	201,985,340
	比較	17,396,500	22,185,380	40,142,275	37,878,009	37,566,674
実経費	指定後	218,956,840	223,745,720	238,969,115	238,949,349	239,349,254
	前指定末（平成29年度）	201,560,340	201,560,340	201,560,340	201,560,340	201,560,340
	比較	17,396,500	22,185,380	37,408,775	37,389,009	37,788,914

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	協定書・仕様書で示した事項が適切に履行されているか。 ・条例で示した開館日数と実開館日数は適切か など	5	協定書・仕様書で示されている事項を適切に履行し、全職員が一丸となり理念実現のために協働し、5か年計画を推進した。	5	コロナ禍の中、対策を行いながら各種行事も開催でき、問題なく保育園を運営できた。
	維持管理状態	維持管理の状態が適切か。など	5	瑞穂町と協議しながら利用者の安全安心できる管理運営のため、日常安全点検・衛生管理を実施し、適切に維持管理を行った。	5	児童を安全に保育できるよう設備の維持管理を行った。
インプット指標	行政資源投入量	指定管理料の増減の状況は。指定管理料は適正か など	5	指定管理料は適正であった。	5	指定管理料の算定方法は、私立の園と同様に公定価格を用いて算定しており、適正である。
	職員投入及び物品提供の状況	職員投入及び物品提供の状況は。 ・町職員の関与や提供物資等は適切か など	5	瑞穂町と協議しながら利用者の安全安心できる管理運営のため、利用者の様々なニーズに適切に対応した。ガス給湯器1台の提供を受けた。	5	・今年度は、故障したガス給湯器1台を買い替えたほか、町へ寄付されたマスクを提供した。 ・園からの報告に適切に対応した。
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	事業計画どおりの利用状況になっているか。 ・利用者は事業計画どおりか（環境の変化など外部要因考慮） など 利用者の満足度を得られているか。 ・職員の接客態度、利用条件等は適切か など	5	111～113名の利用があり、0歳児は実員10名の利用だった。事業計画はコロナ禍の長期化を見据えて作成し、感染状況に応じた事業内容の工夫を重ね運営した。一人一人の子どもの最善の利益を考慮し自己肯定感を高める保育を推進し、安心して遊べる環境を保障していった。また、保護者の不安に寄り添い、子育ての安心につなげた。保育の質の向上のため園内研修計画を基に年間を通して実施した。	5	多数の申込に対し、定員以上の児童受け入れを行い、待機児童0を支援できた。
	施設の稼働状況（稼働日数・貸出し日数）	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。 ・施設の設置目的を達成しているか など	5	指定管理の業務内容に基づき、293日11時間開所した。	5	定員以上の児童受け入れを行い、待機児童0を支援できた。
	利用料収入の状況	事業計画どおりのサービスが提供されているか。 ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか。 ・営業努力の状況は認められるか など	5	延長保育は175名、一時預かりは362名（年間利用者）の利用となり、令和3年度より回復した。	5	新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用者収入も、回復しつつある。
業務収支	収支のバランスが適切か。 ・経営状況は安定しているか など	5	収支は適切に行われている。	5	収支は適切である。	
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	利用者の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。 ・利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者の協力を得ながら園児や家族の健康管理の徹底を行い感染防止に努めた。日頃の保育の様子を保護者アプリや園だよりクラスだより、ホームページで発信し、年齢別懇談会で子どもの発達や子育てに見通しが持てるような内容で説明した。保護者の意向は懇談会や面談、行事後のアンケートなど適宜行った。	5	懇談会や面談、アンケートなどで得た意見を保育に反映した。
	プログラム等質の改善	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	園全体で「個別支援」や「体幹を育む運動遊び」等について学び続け、保育の質の向上を図っている。また、保育園の持つ機能を活かし地域子育て支援事業を年間予定通り実施し、合計269名の参加があった。専任の保育士が制作や子育て相談、季節ごとの手作り背景で写真をとるなど内容を工夫した。	5	各種研修に積極的に参加し、事業に活かしている。また、子育てひろば事業も定期的実施している。
	利用者の満足度の状況	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	5	令和4年度は東京都福祉サービス第三者評価を受審し、保育事業の評価、保護者・職員アンケートで満足度やニーズを把握した。満足度は大変満足・満足が95.6%だった。	5	第三者評価を受審し、結果は良好であった。
遵法検査	遵法検査の状況	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	法定検査や瑞穂町立ち入り調査は適切に行われた。	5	法定検査や瑞穂町立ち入り調査は適切に行われた。
総括	経費比較（前指定末と指定後における町支出の比較）	町職員の関与は適切か ・経費の状況は適正か。など	5	経費状況は適切であった。	5	十分な積立金があり、安定した経営を行うことができている。